

クライスラー ENVI、電気自動車を世界へ

— クライスラー、量産化を意図した電気自動車ラインアップを拡大 —

- クライスラー ENVI、クリーンで、環境に優しく、妥協のない電気自動車の実現により、個人のモビリティに革命をもたらす
- クライスラー・200C EV コンセプトカーおよびジープ・パトリオット EV を追加し、電気自動車ラインアップを拡充
- クライスラー社の電気駆動システムの幅広さを示す 5 つの異なるプラットフォーム
- 2010 年にクライスラー初の電気自動車の生産開始。2013 年までにはさらに 3 モデルを量産へ

クライスラー社は、ENVI 部門(環境「environmental」の頭から 4 文字を取った名称)が開発した電気自動車のラインアップを急速に拡大させることで、個人のモビリティに革命を起こそうとしています。地球の将来に危機感を持ち、地球を守りたいと考えるユーザーのために、信頼性が高く妥協のない、新世代のクライスラー、ダッジ、ジープ製品を創り出すのです。

クライスラーは昨年 9 月、先進の電気自動車プロトタイプを 3 モデル発表しました。これによって自社ブランドのラインアップ全般にわたり、純粋に電気のみで走行する電気自動車、そしてレンジエクステンダー(航続距離延長装置)を搭載する電気自動車のシリーズを拡大していく決意を示したのです。

クライスラーでは、クライスラー、ジープ、ダッジの各ブランドのさまざまな先進電気自動車の開発・量産のための取り組みを強化しており、米国ミシガン州デトロイトで開催される 2009 年北米国際モーターショーにおいて、上記プロトタイプ 3 モデルの最新バージョンに加え、全く新しい電気自動車を 2 モデル発表致しました。

クライスラーは、これらのモデルのうち少なくとも 1 モデルについて北米向けの生産を 2010 年に開始し(欧州市場向けは 2010 年以降)、また、2013 年には、さらに少なくとも 3 モデルを追加する予定です。

クライスラー社製品開発部門統括 エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント、フランク・クリーゴンは、次のように述べました。「クライスラーがこれだけ多くの電気自動車プロトタイプを発表できるということは、私たちが電気自動車の量産化の一手手前まで来ているということを示しています。クライスラーの戦略は、ENVI の開発した車両によって、環境に優しく、クリーンで、静粛性が高く、信頼性の高い走りを実現するさまざまな電気自動車をお客様へ提供することです。」

クライスラーは、ENVI の電気自動車や同社の GEM(Global Electric Motorcars)の近距離移動用電気自動車などを含め、2013 年までに合計で 50 万台の電気自動車を販売する予定です。

クライスラー・200C EV コンセプトカーは、次世代のクライスラー スポーツセダンの方向性を示しており、魅力的なデザインと最先端のテクノロジーを完璧に融合したモデルです。また、200C EV コンセプトカーは、クライ

スラーの開発した最先端のネット接続性も備えています。100%電気のみで 40 マイル(約 64 km) 走行することができる 200C EV コンセプトカーは、レンジエクステンダーの搭載により合計で 400 マイル(約 640 km) 走行することが可能となっています。

新型 ジープ・パトリオット EV は、ENVI のレンジエクステンダーを装備した電気駆動システムと、世界でもっとも走破性能の高いコンパクト SUV(スポーツ・ユーティリティ・ビークル)の組み合わせです。クライスラーの他のすべてのレンジエクステンダー搭載電気自動車と同様、パトリオット EV には、一体型の小排気量エンジンと、必要なときに追加で発電を行い、駆動システムに電力を供給する電気ジェネレーターが搭載されています。

ダッジは 100%電気で走行するスポーツカーの新バージョン、ダッジ・サーキット EV を展示します。ダッジ・サーキット EV には、フロントとリアに大胆な新ダッジデザインと新しいダッジインテリアを採用。ガソリンを消費せず、排出ガスゼロで実に 150~200 マイル(約 240~320 km)を走行することができます。

走破性と燃料効率の組み合わせは、ジープ・ラングラー アンリミテッド EV によって実現しました。レンジエクステンダーを搭載したラングラー アンリミテッド EV は、象徴的なジープブランドの「どこへでも行ける、何でもできる」という哲学に基づいたモデルの未来の一端を提示しています。

クライスラーの電気自動車ラインアップの最後を飾るのは、完璧な燃料効率を持つファミリーカー、クライスラー・タウン&カントリー EV(内燃エンジンを搭載した既存ミニバンは、日本市場ではクライスラー・グランドポイジャーの名前で販売)です。このモデルも、クライスラーの定評あるミニバンの持つ利便性とユーティリティを損なうことなく、100%電気のみで 40 マイル(約 64 km) 走行することができます(ガソリンも使用した場合、400 マイル(約 640 km))。

クライスラー ENVI

クライスラーの電気自動車およびレンジエクステンダー(航続距離延長装置)搭載電気自動車の開発は、ENVI 部門(環境「environmental」の頭から 4 文字を取った名称)が担当しています。ENVI は量産電気自動車および関連する先進技術確立のために 2007 年後半に社内組織として編成されました。

ENVI はクライスラー社内の広範囲に渡る資源を活用し、電気自動車の急速な拡大を図るための、権限の与えられた、組織横断的で小回りの効くチームです。

先進車両エンジニアリング部門ヴァイス・プレジデント 兼 ENVI 代表、ルー・ローズは、次のように述べました。「ENVI は、クルマに対する顧客の概念が変わりつつある市場へ電気自動車を迅速に導入します。ENVI の電気自動車では、ユーザーはガソリンスタンドや従来方式のメンテナンスを必要としません。さらに、瞬時トルク、静粛性、なめらかさ、効率といった現在の内燃エンジン駆動車が実現することのできない性能を、今までにない、より高い社会的責任を果たす形で享受することができます。」

ローズはさらにこう続けました。「ENVI は電気自動車の可能性を利用し、それをさらに推し進めました。私たちは電力供給会社およびバッテリーメーカーとの共同作業により、電気自動車普及のためのシームレスなアプローチを策定中です。この様なアプローチを採用することで、ユーザーは環境に優しく、簡単に使用できるモビリティパッケージへと時間を掛けることなく、スムーズに移行することができます。」

ENVI の電気自動車とレンジエクステンダー搭載電気自動車により、化石燃料への依存と CO² 排出量は大幅に削減されます。

クライスラーでは、ENVI の開発した電気駆動技術を各ブランドへ、そして前輪駆動車や後輪駆動車、ボディオンフレームの 4WD プラットフォームへと適用していく予定です。

ローズはまた、次のように述べました。「ENVI の電気自動車プロトタイプのリニアアップが示すように、クライスラー社はダッジの力強いパフォーマンス、ジープの多機能性と走破性、そしてクライスラーの快適性と機能性を備えた電気自動車の開発を精力的に進めています。」

クライスラーの 100%電動走行用電気自動車技術

ENVI が開発した電気自動車に使用されている主要なコンポーネントはわずか 3 つです。その 3 つとは、ホイールを駆動する電気モーター、電気駆動モーターに電力を供給する先進のリチウムイオンバッテリー、エネルギーの流れを制御するコントローラーです。

ローズは、「ENVI の電気自動車技術により、排出ガスゼロと 150~200 マイル(約 240~320 km)の航続距離が実現します。この航続距離は、大半のアメリカ人の日常的な走行距離を超えるものです。というのも、ほぼ 80%のアメリカ人の走行距離は 1 日当たり 40 マイル(約 64 km) (年間 1 万 4,000 マイル(約 22,440 km)) 以下であるからです」と述べています。

ローズは次のように付け加えました。「ENVI が開発した電気自動車はユーザーの望む性能とユーティリティを備えながらも、社会的責任を果たし、化石燃料への依存を減らし、毎月のガソリン代をなくすことを可能にします。」

ENVI の電気自動車技術の成果として、優れた加速とレスポンスを提供するまったく新しい走行体験が実現しています。この電気駆動技術によって、静粛性の高さ、滑らかさ、効率の高さの面で新しい基準が作り上げられました。

クライスラーの 100%電気走行モデルへの充電は、まさにシンプルな 1 ステップ。一般家庭用電源(110V)にプラグを差し込むだけです。家庭電気器具用電源(220V)を使用すると、充電時間は半分に短縮されます。

クライスラーのレンジエクステンダー搭載電気自動車技術

レンジエクステンダー搭載電気自動車では、ENVI 電気自動車の電気駆動コンポーネントに、追加エネルギーを発生させるための小型ガソリンエンジンおよび一体型電気ジェネレーターが組み合わされ、必要なときに電動駆動システムに電力を供給することができます。このシステムにより、性能に妥協することなく、電気自動車の良好な特性に加え、今日のガソリンエンジン搭載車と同等の走行距離を得ることができます。

レンジエクステンダー搭載電気自動車は、ガソリンを消費することなく、排出ガスゼロで、バッテリー出力のみで 40 マイル(約 64 km) 走行することが可能です。小型内燃エンジンと一体型ジェネレーターが発生する電力により、走行距離が 400 マイル(約 640 km)にまで延長されます。

レンジエクステンダー搭載電気自動車は、走行距離、快適性、ユーティリティを犠牲にすることなく、環境への責任を果たすことができます。

レンジエクステンダー搭載電気自動車の充電プロセスと充電時間は、純粋に電気のみで走行する電気自動車と同じです。110V または 220V 電源を使用します。